

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26 (10)	現在は職員個々が各自でモニタリングをするというシステムが確立していない為、職員一人一人の観察に対する姿勢に温度差が出ている。	自分の想い・希望を口に出して言えない方達が多くなってきている中で日々の観察を基に想いを推し量りご本人にとって居心地の良い生活を送って頂くためにどんな事をプランに取り入れていったら良いのかを職員一人一人が考え職員全員で話し合いを持ちプランに反映させていく。	最初のステップとして職員一人一人にプランを作ってもらい。そのプランを基にみんなで意見を出し合い、ケアマネがまとめ正式なプランにしていく。個々がプランを作ることでモニタリング力を養うと共に入居者一人一人の想いも今以上に把握できるようにしていく。	6 ヶ月
2	35 (13)	災害時の食料等の備蓄が少ない。	災害時、入居者・職員だけではなく近隣の方達にも避難場所として利用して頂き食料も提供できるよう備蓄を整える。	現在ある食料備蓄の補充。 新たに備蓄種類を増やす。	1 ヶ月
3	49 (18)	外出はADL・体調を考慮し可能な方のみ実行しているのが現状です。体調は考慮するべきは当たり前の事ですが、ADLが低下しており、また認知症症状が悪化している方の外出を躊躇してしまっている。	認知症症状が低下し外出に対し不安を感じている方達に安心してドライブ・散歩に出かけていただく。	天気の良い穏やかな日に入居者1人ではなく2~3人と一緒に散歩に出かける。 何か不安になる原因があるのかを探り解消できるかを職員全員で話し合っていく。	6 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月